

第 214 号 内容紹介

1, J・ファリア「平和と団結を基礎にしたベネズエラのたたかい」

米攻撃から 4 か月、革命路線を堅持しつつ平和と国民生活再建を優先したたたかひの現状を、国会経済政策委員長が詳述。日本 AALA 主催のオンライン講演会での発言録。

2, S・エルナー「新段階の米帝国主義を左派勢力は精査せよ」

トランプ政権の下でアメリカ帝国主義は新たな段階を迎えた。ベネズエラ、キューバ、イランのたたかひはどのような意味を持つのか。世界の左派勢力は精査をして連帯をと、訴える。

3, モジタバ師「ペルシャ湾国家デーにあたってのメッセージ」

イラン最高指導者が 4 月 30 日に発表した声明の全文。神聖な海峡を取り戻し、アメリカとのたたかひに勝利しつつあると強調、周辺諸国に外国勢力を駆逐して平和を回復しようとよびかけている。

4, 栗田禎子「米 = イスラエル攻撃をみる 2 つの視点」

国際法違反の侵略行為はもちろんだが、「イスラエル中心の中東作り」のための戦争は、結果として米国の威信自体の決定的低下、米国のヘゲモニーの「自壊」プロセスともいふべき現象が始まっているとみる。

5, 事務局長談話「非核・非同盟国家とした GS と歩む日本へ」

非核化と多極的協調を求めるグローバルサウスの潮流は、日本が戦後掲げてきた平和主義と深く響き合う。憲法記念日にあたって日本 AALA の訴え。

その他の記事は「AALA ニュース編集日記」で参照できます（[aala news の編集日記 \(livedoonar.jp\)](#)） なお紹介している論考は学習資料であり、内容の全部も一部も日本 AALA の見解や立場を反映したものではありません。